

What's This MINGU?

Folklorist Tsuneichi Miyamoto  
and the Legacy of  
His Mingu Collection

主催  
武蔵野美術大学  
美術館・図書館

特別協力  
美術手帖

共同監修  
加藤幸治  
武蔵野美術大学  
教養文化・学芸員課程教授  
美術館・図書館副館長

鈴木康広  
同造形学部  
空間演出デザイン学科教授  
大石啓明  
同造形学部  
デザイン情報学科准教授

民俗学者・宮本常一  
が美術大学に遺した  
民具コレクション

会期

2026年6月15日[月]  
—8月1日[土]

会場

武蔵野美術大学美術館  
展示室2・4、アトリウム1・2

時間

10:00-18:00  
(土曜日・祝日、特別開館日は17:00閉館)

日曜休館

7月12日[日]特別開館  
入館無料

MAU  
1929-2029  
100th  
美はつづく。

武蔵野美術大学 美術館・図書館  
〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736  
tel. 042-342-6003  
<https://mauml.musabi.ac.jp/museum>  
※最新情報は当館 web サイトにてご確認ください。

MAU M&L  
Musashino Art University Museum & Library

Illustration: Yusaku Suzuki, Design and Photo: Shio Yamashita

## 関連イベント

※イベントに関する詳細は  
当館webサイトをご覧ください。

### ●オープニングトーク

日時：6月15日(月) 16:40-18:00  
講師：加藤幸治、鈴木康広、大石啓明  
対象：どなたでもご参加いただけます  
会場：美術館アトリウム1、2、展示室2、4

### ●講演会とトークセッション

・「民俗学者・宮本常一が遺したレガシー」  
日時：8月1日(土) 13:00-15:00  
対象：どなたでもご参加いただけます  
定員：100名(申込不要、先着順)  
会場：美術館ホール

・「今に生きる宮本民俗学を考える」  
講師：木村哲也  
(国立ハンセン病資料館 学芸員)

・「宮本常一が美術大学に遺した  
民具コレクション」  
講師：加藤幸治

### ●ワークショップ

・みんごカードに挑戦！  
みんごカードに描かれた民具たちを  
会場ですべて探してみよう！  
タテ・ヨコ・ナナメがそろったら、  
受付で「みんご！」と言ってね。  
オリジナルグッズをプレゼント！  
※会期中、展覧会場ですべて  
ご参加いただけます。(事前申込不要)

・デッサンしよーぜ  
日時：6月20日(土) 13:30-15:00  
対象：一般(小学生以上)、本学学生  
定員：20名 ※応募者多数の場合は抽選  
会場：美術館アトリウム1、展示室6  
講師：鈴木康広、加藤幸治  
参加費：無料  
お申込方法：当館webサイトの  
フォームからの事前申込み  
※イベントに関する詳細は  
当館webサイトをご覧ください。

### ●みんなフェス！

民具にまつわる様々な催しが  
開催されることも向けイベントデー！  
大人も楽しめるイベントが盛りだくさん！  
日時：7月4日(土) 10:00-15:30  
会場：美術館、美術館前芝生、中央広場  
※雨天の場合は開催場所が変更となります。  
※各イベントに関する詳細は当館webサイト、  
「みんなフェス！」チラシをご覧ください。

・「かごかごあみあみ」  
民具スコープをもってかごの森を探検！  
探検後はクラフトバンドや  
毛糸をつかってかごをあんでみよう！  
時間：10:30-12:00/13:30-15:00  
対象：小学生(親子での参加が可能です)  
定員：各回15組 ※応募者多数の場合は抽選  
参加費：無料  
お申込方法：当館webサイトの  
フォームからの事前申込み

どなたでもご参加いただける  
フリーイベントもあります！

・「ギョモープレブランド」  
・「みんごパッチづくり」  
・「民具これなーんだ?ワークショップ」  
・「幻のはたおりの  
ガチな再現/実演やってみた!」



1



2



3

日常生活の必要からつくられ、使われてきた「暮らしの造形」としての民具。民具の造形には、手の実感がある暮らしの営み、自然素材による巧みな造形、目に見えないものをかたちにする想像力が発揮され、現代人にとって異文化との出会いにも似た驚きと発見があります。

武蔵野美術大学 美術館・図書館には、およそ9万点に及ぶ民具コレクションが所蔵されており、美術大学が所蔵する生活文化の造形アーカイブとしては世界屈指の規模を誇ります。本展示は、2020年から進められてきたコレクションの成立についての検証と再整理作業をもとに、民俗学者・宮本常一(本学名誉教授)と当時の学生たちのカリキュラムの外側にある学びや活動を紐解きます。

また、現代の美術教育への活用のさまざまな実験をもとにウェブ版「美術手帖」とのコラボレーションによって、美術・デザインの視点で展示構成しています。観察と見立てによる参加型展示、異なる背景を持つ民具の意外なキュレーション、デジタル技術や空間表現による民具の再解釈など、新たな展示体験を楽しんでいただけます。



4



5



6

第1章 民俗学者・宮本常一のムサビ時代  
謎解き「なぜ美大に巨大民具コレクションが？」  
第2章 デッサンしよーぜ  
一人ひとりの視点で描いてみよう・参加型展示  
第3章 民具のかたち百態  
核となる陶器・竹工藝・郷土玩具コレクション  
第4章 民具これなーんだ?  
同名のウェブ版「美術手帖」で連載の民具を実物展示  
第5章 浮遊する貧乏徳利  
デジタル技術や光の表現による民具の再解釈



- 1: 猫火入れ(今戸人形) 東京都台東区
- 2: 手籠 京都府京都市
- 3: 高足膳 収集地不詳
- 4: 干支絵馬[巳・白蛇] 大阪府大阪市
- 5: 浜松町印風 静岡県浜松市
- 6: 大石啓明 貧乏徳利のフォトグラマトリ

## 同時開催展覧会

武蔵野美術大学教授退任記念  
黒坂圭太——森を見ずに木を見る  
会期：2026年6月15日(月)  
—7月18日(土)  
会場：展示室3、美術館ホール

## 武蔵野美術大学 美術館・図書館

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736  
tel. 042-342-6003  
<https://maumil.musabi.ac.jp/museum/>  
X、Instagram: @mau\_m\_l  
※最新情報は当館webサイトにてご確認ください。

## MAPおよびアクセス情報

- 1: 西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩18分
- 2: JR中央線「国分寺」駅北口4番停留所より  
西武バス「武蔵野美術大学」行または  
「小平営業所」行に乗り、「武蔵野美術大学正門」  
停留所下車(バス所要時間:約25分)
- 3: JR中央線「立川」駅北口5番停留所より立川バス  
「武蔵野美術大学」行に乗り、「武蔵野美術大学」  
停留所下車(バス所要時間:約25分)  
※お車のご来館はお控えください。

